

第69回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

JB061CE	中学	生物	福島県
学校名		福島大学附属中学校	
研究作品タイトル		昆虫の花止まり時間と花からの飛び立ち	
研究者氏名 (共同の場合はグループ)		守谷 知佳	
指導教諭氏名		佐藤 裕輔	

【動機】

昆虫を観察していると、ハチはチョウのようにゆったり飛びまわったりじっくりと花に止まったりしなかった。なぜ両者の動きはこうも違うのか気になり、チョウとハチはどのくらい花に止まっている時間が違うのかを調べたいと思った。また、どのような場合に花から飛び立つのかについても調べたいと思った。

【方法】

庭のチュウゴクニンジンボクに訪花するハチ類とチョウ類を対象として、花止まり時間を測定した。また、ハチ類・チョウ類が花から飛び立つ際に、どのような状況で飛び立っていたかを記録した。観察は計5回行った。また、外部からどのような刺激を受ければ飛び立ちやすいのかを調べた。

【結果】

花止まり時間について、ハチ類はチョウ類よりも短い傾向にあることが明らかになった。花から飛び立つ状況としては、自発的である場合がほとんどであった。花から離れる原因と状況について、チョウ類では吸蜜中には外部からの刺激に対して花から離れることはほとんどなかった。

【まとめ】

ハチ類・チョウ類ともに、同一種では個体間の差が小さく、種ごとに決まった傾向がみられた。自発的に飛び立つのは、より多くの花に訪花して、安定した餌の確保を行うためだと考えられる。また、チョウ類が静止している場合には、与えた刺激に反応してある程度の頻度で飛び立つことを確認した。

【展望】

今後は他の植物や昆虫にも注目し、花止まり時間を測定することによって、植物の種による違い、昆虫の種による違いなどを見出していきたい。

